



西牟田 祐二教授近影

西牟田 祐二 教授 略歴

1956 年（昭和 31 年）9 月 8 日 愛知県豊橋市に生まれる

学 歴

1975 年（昭和 50 年）3 月 愛知県立時習館高等学校卒業

1976 年（昭和 51 年）4 月 京都大学文学部入学

1978 年（昭和 53 年）4 月 京都大学経済学部へ転学部

1981 年（昭和 56 年）3 月 京都大学経済学部卒業

1981 年（昭和 56 年）4 月 京都大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専攻修士課程進学

1983 年（昭和 58 年）3 月 京都大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学修士課程修了

1983 年（昭和 58 年）4 月 京都大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専攻博士後期課程進学

1986 年（昭和 61 年）3 月 京都大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専攻博士後期課程単位取得退学

1999 年（平成 11 年）5 月 京都大学博士（経済学）取得

職 歴

1986 年（昭和 61 年）4 月 東京大学助手（社会科学研究所）

1988 年（昭和 63 年）4 月 京都大学経済学部助教授

1998 年（平成 10 年）4 月 京都大学大学院経済学研究科教授

2004 年（平成 16 年）4 月 国立大学法人京都大学大学院経済学研究科教授

2021 年（令和 3 年）3 月 国立大学法人京都大学大学院経済学研究科教授退職，名誉教授就任

2021 年（令和 3 年）4 月 獨協大学経済学部教授（現在に至る）

学会および社会における活動

1983 年（昭和 58 年）4 月 土地制度史学会（政治経済学・経済史学会）会員

1983 年（昭和 58 年）4 月 経営史学会会員

1998 年（平成 10 年）4 月 社会経済史学会会員

2014 年（平成 26 年）4 月から

2018 年（平成 30 年）3 月まで 経営史学会『経営史学』編集委員・研究組織委員

以上

西牟田 祐二 教授 業績一覧

(著書・単著)

西牟田祐二 (1999 年). 『ナチズムとドイツ自動車工業』 有斐閣.

西牟田祐二 (2020 年). 『語られざる GM 社—多国籍企業と戦争の試練—』 日本経済評論社.

(著書・分担執筆)

西牟田祐二 (1992 年). 「ダイムラー＝ベンツ社とフォルクスワーゲン社」 戸原四郎・加藤榮一 (編著) 『現代のドイツ経済—統一への経済過程—』 (pp. 97-109). 有斐閣.

西牟田祐二 (1996 年). 「ナチ経済とアメリカ大企業—フォード社の場合—」 経済史研究会編 『欧米資本主義の史的展開』 (pp. 343-363). 思文閣.

西牟田祐二 (2012 年). 「第三帝国の軍事的モータリゼーションとアメリカ資本」 横井勝彦・小野塚知二 (編著). 『軍拡と武器移転の世界史—兵器はなぜ容易に広まったのか—』 (pp. 173-207). 日本経済評論社.

西牟田祐二 (2016 年). 「ドイツ航空機産業におけるアメリカ資本の役割—」 横井勝彦 (編著). 『航空機産業と航空戦力の世界的展開』 (pp. 241-277). 日本経済評論社.

西牟田祐二 (2020 年). 「ライセンス生産の失敗—三式戦闘機「飛燕」のエンジン・トラブルをめぐって—」 高田馨里 (編著). 『航空の二〇世紀—航空熱・世界大戦・冷戦—』 (pp. 249-287). 日本経済評論社.

(学位論文)

西牟田祐二 (1983 年). 「両大戦間期のドイツ資本主義と自動車工業の位置」 京都大学

西牟田祐二 (1999 年). 「ナチズム体制の経済構造と大企業」 京都大学

(学術論文)

西牟田祐二 (1985 年). 「両大戦間期のドイツ資本主義と自動車工業の位置」 史学研究会『史林』 68(5) pp. 95-136

西牟田祐二 (1987 年). 「ダイムラー＝ベンツ社の成立過程—ダイムラー＝ベンツ社の成立と展開 (1)—」 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』 38(6) pp. 1-40

西牟田祐二 (1987 年). 「ダイムラー＝ベンツ社の経営戦略 1920 年代—ダイムラー＝ベンツ社の成立と展開 (2)—」 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』 39(1) pp. 137-171

西牟田祐二 (1988 年). 「ダイムラー＝ベンツ社の経営戦略 1930 年代—ダイムラー＝ベンツ社の経営戦略 (3)—」 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』 39(3) pp. 183-220

西牟田祐二 (1989 年). 「軍需企業としてのダイムラー＝ベンツ社—ダイムラー＝ベンツ社の成立と展開 (4)—」 東京大学社会科学研究所『社会科学研究』 40(6) pp. 135-234

- Nishimuta, Y. (1991). German Capitalism and the Position of Automobile Industry Between the Two World Wars(1). *The Kyoto University Economic Review*. Vol. LXI-1. pp. 15-34
- Nishimuta, Y. (1991). German Capitalism and the Position of Automobile Industry Between the Two World Wars(2). *The Kyoto University Economic Review*. Vol. LXI-2. pp. 15-28
- Nishimuta, Y. (1995). Nazi Economy and U.S. Big Business (1) — The Case of Ford Motor Co. —. *The Kyoto University Economic Review*. Vol. LXV-2. pp. 13-26
- Nishimuta, Y. (1996). Nazi Economy and U.S. Big Business (2) — The Case of General Motors Corporation — *The Kyoto University Economic Review*. Vol. LXVI-1/2. pp. 25-41
- 西牟田祐二 (1996 年). 「ナチ経済とアメリカ大企業—GM 社の場合—」京都大学『経済論叢』157 (1) pp. 119-142
- 西牟田祐二 (1998 年). 「第二次世界大戦期の国際決済銀行 (1)」京都大学『経済論叢』161 (2) pp. 1-24
- Nishimuta, Y. (1998) The Competitive Relationships between German Automobile Companies — Daimler-Benz, Adam Opel, Volkswagen — *The Kyoto University Economic Review*. Vol. LXVII-1/2 pp. 11-23
- 西牟田祐二 (2007 年). 「1953 年ロンドン債務協定に関する最近の研究動向」社会経済史学会『社会経済史学』73(1) pp. 85-93
- 西牟田祐二 (2011 年). 「世界大恐慌期の債務再交渉—1933 年 5 ～ 6 月ベルリン債務会議を中心に—」大阪経済大学日本経済史研究所『経済史研究』14 pp. 101-127
- Nisimuta, Y. (2013) General Motors Corporation as an Armament Producer 立命館大学経済学部『立命館経済学』61(5) pp. 186-215

(翻訳書)

- アルフレッド・D. チャンドラー Jr. 『スケール・アンド・スコープ：経営力発展の国際比較』Chandler, Jr., A. D., *Scale and Scope: The Dynamics of Industrial Capitalism*, 1990, Harvard University Press 有斐閣. 安部悦生・川辺信雄・工藤章・日高千景・西牟田祐二共訳 pp. 443-511